4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動の推進

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和5年度 実行宣言			
<p>地区市民センターや地区公民館などの公共施設については、地域づくりの拠点施設としての役割を持つコミュニティセンターとして、住民自治協議会が持続的に運営し、地域に応じた利活用ができるよう丁寧に説明し、コミュニティセンター化を更に進めます。あわせて、地域が使いやすい施設となるよう、モデル地区の検証を行いながら、コミュニティセンターの制度を構築します。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>令和5年11月に指定管理者制度を活用したコミュニティセンターについて住民自治協議会会長と住民自治協議会事務職員及び公民館職員を対象に説明会を開催しました。また、個別に依頼のあった12協議会でも説明会を実施しました。 モデル地区の検証においては、コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を有識者を含む5人で構成し、3回開催し、検証の視点として「適切な管理運営の確認」、「市民サービスの向上につなげ利用者拡大をめざすこと」、「制度運用上の課題の抽出」について検証を行い制度の構築を進めています。 令和5年度に松尾住民自治協議会と米ノ庄住民自治協議会を松尾地区コミュニティセンター、米ノ庄地区コミュニティセンターの指定管理者として指定をしました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>今年度、モデル地区が3地区となったことから地区市民センターや地区公民館などの公共施設については、地域づくりの拠点施設としての役割を持つコミュニティセンター化について更に検証し、住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めています。あわせて、直営によるコミュニティセンターの運営方法などを関係各課と協議し令和8年度の移行に向けて進めていきます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	住民自治協議会(住民協議会)の認知度				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	67.5 %	71.5 %	75.5 %	80.0 %	
	実績	63.5 %	— %	66.5 %	69.4 %	67.3 %	
	評価	—	—	D	D	E	
	今後の方針	住民自治協議会と情報共有を図り、住民自治協議会の情報誌を通じ活動の広報の充実を図ります。					
数値目標 ②	項目	地域づくり活動への参加率				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	26.2 %	30.7 %	35.2 %	40.0 %	
	実績	21.7 %	— %	48.4 %	48.5 %	50.4 %	
	評価	—	—	S	S	S	
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の支援と充実を図ります。					
数値目標 ③	項目	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	42 団体	45 団体	47 団体	50 団体	
	実績	40 団体	42 団体	43 団体	45 団体	45 団体	
	評価	—	S	C	B	C	
	今後の方針	市民活動が活性化するよう、支援の仕組みを見直します。					
関係所属							
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局							

4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和5年度 実行宣言			
<p>中山間地域の地域資源を活用した取組を推進し、移住人口や関係人口の創出を図ります。その中でも、移住希望者を含む地域住民の雇用機会の創出及び安定を図るため、過疎地域の事業所が組合員となり、その組合員に人材を派遣する「特定地域づくり事業協同組合」の設立をめざします。また、交流人口の増加を図るため、まつさが香肌峡トレイルランの本格実施に向けて地域とともに取組を進めます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>「特定地域づくり事業協同組合」の設立について、令和5年度に関係団体との協議や事業所説明会などを行って制度設計を協議し、3月18日、発起人6社と賛同者8社の計14社により協同組合創立総会が開催され、「松阪市香肌地域づくり協同組合」を創立しました。第1回香肌峡トレイルランニング大会を住民自治協議会や地域団体、ボランティアにより参加者222人で開催し地域の活性化に取り組みました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>中山間地域の地域資源を活用した取組を推進し、移住人口や関係人口の創出を図ります。その中でも、昨年度設立した「松阪市香肌地域づくり協同組合」と協働し、空家バンク制度を活用することで移住希望者を含む地域住民の雇用機会の創出及び安定を図ります。また、住民自治協議会、地域おこし協力隊と協働し空家の登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、トレイルランニング大会の開催など、地域資源を生かしたイベントの実現に向けて地域とともに取組を進めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	空家バンク成約世帯数(累計)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	65 世帯	73 世帯	81 世帯	90 世帯	
	実績	57 世帯	72 世帯	88 世帯	111 世帯	136 世帯	
	評価	—	S	S	S	S	
今後の方針	松阪市香肌地域づくり協同組合と連携し、空き家バンク制度を活用して移住者の増加をめざします。						
数値目標 ②	項目	飯南・飯高管内施設の宿泊者数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	17,221 人	17,314 人	19,800 人	20,200 人	
	実績	17,128 人	16,715 人	19,492 人	23,014 人	19,272 人	
	評価	—	E	S	S	C	
今後の方針	地域資源の活用と情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。						
数値目標 ③	項目	生活支援の取組				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	3 地区	5 地区	7 地区	10 地区	
	実績	0 地区	4 地区	5 地区	6 地区	7 地区	
	評価	—	S	S	B	B	
今後の方針	誰もが中山間地域で快適に暮らしていくことができる必要な支援について検討し、事業化を図ります。						

関係所属
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

4. 人も地域も頑張る力 ③社会教育の推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜		
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープンする松阪公民館の機能強化を図るとともに、オープニングイベントや各種講座の開催など、市民の期待に応えられる取組を進めます。 ・市内5つの拠点公民館については、コミュニティセンター移行を見据えた各公民館部会の活動の核となる取組を推進します。 			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープンした松阪公民館においては、調理室の新設や音響設備の強化、大型ディスプレイの設置やZoom配信機器の整備を行い、機能強化を図ることができました。また、オープニングイベントを含む各種講座・講演への参加者数が前年度比119%、有料貸出件数が前年度比162%と増加する等、新しい公民館の周知を図ることができました。 ・各公民館の館長、主事に向け、Zoom配信を併用した研修を2回行い、延べ103人が参加し、コミュニティセンター移行に向けての理解を深めました。 			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館のコミュニティセンター化を見据え、松阪公民館を核とした体制を作り、生涯学習活動のさらなる推進に取り組みます。 ・青少年育成事業について、近年の非行情勢を踏まえ、青少年に寄り添った新たな体制づくりに取り組みます。 			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	地域開放型図書館の利用数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	5,000 人	5,000 人	5,000 人	5,000 人	
	実績	4,647 人	4,464 人	3,946 人	4,015 人	4,009 人	
	評価	—	E	E	E	E	
	今後の方針	地域開放型図書館での取り組みやイベント等を充実し、利用者数向上に取り組みます。					
数値目標 ②	項目	公民館の子育てに関する講座数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	250 講座	250 講座	250 講座	250 講座	
	実績	239 講座	247 講座	243 講座	364 講座	441 講座	
	評価	—	B	D	S	S	
	今後の方針	子育て世代に届きやすくするため、ハイブリット型(対面と配信)の講座の開催に取り組みます。					
数値目標 ③	項目	青少年の悩み相談件数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	50 件	50 件	50 件	50 件	
	実績	33 件	4 件	118 件	105 件	29 件	
	評価	—	E	S	S	E	
	今後の方針	近年の非行情勢や他相談機関などの充実から、青少年支援に対する体制の見直しに取り組みます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ④	項目	図書館電子書籍貸出数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	3,000 冊	3,000 冊	3,000 冊	3,000 冊	
	実績	2,056 冊	2,827 冊	3,303 冊	3,298 冊	4,182 冊	
	評価	—	B	S	S	S	
	今後の方針	電子書籍の貸出数を増やすため、市ホームページや松ナビを活用した新刊情報等の情報発信に取り組みます。					

関係所属
生涯学習課

4. 人も地域も頑張る力 ④文化の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
<p>市民文化会館大規模改修事業等により、安全安心に文化芸術に触れることができる環境整備をめざすとともに、文化財センター収蔵庫の運用開始により指定文化財等を適切に保存します。また、小津安二郎生誕120年、三井越後屋創業350年事業においては公民連携の手法を取り入れ多彩な事業を展開することで、関係者との信頼関係をより深めるとともに市民の郷土の歴史文化に対する理解度向上につなげていきます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>・文化センターにおいては事業に対する満足度が高い結果となり、また、市民文化会館大規模改修等の施設整備を着実に進め、安全安心な環境づくりが進んでいます。 ・文化財センター収蔵庫は部分的な運用を開始し、文化財を適切に保存できる状況がより一層整いつつあります。 ・小津安二郎生誕120年事業、三井高利生誕400年・三井越後屋創業350年事業においては、様々な事業者・関係者との連携も円滑に行え、それぞれ信頼関係を構築することができました。 ・特に三井家発祥地公開は、制約のあった中で実現可能な範囲での公開となりましたが、三井家同族会、三井グループ関係者との密な連絡調整、それに対する市の着実、的確な実施内容に対し高い信頼を得られ、良好な関係を維持・構築することができました。 ・市民参加型の事業はニーズが高く、高い満足度が得られるとともに、施設の入館者数、利用率等も前年度の減少傾向から増傾向に転じました。 ・特に児童生徒の文化財施設への来訪者数は基準値を上回っていることから、各文化関連施設において開催した多様な企画展示や催し物により、文化芸術や文化財、郷土の偉人の功績に触れる機会の充実が図れ、シビックプライドの醸成が進んだものと考えます。 ・全体としては回復傾向にある市民の芸術文化活動ニーズに着実に対応できたこと、さらに松阪市初の国宝指定答申があったことから評価は星5つとしました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>国宝に指定されることになった「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や開館30年を迎える松浦武二郎記念館の周年事業等を確実かつ効果的に実施するため関係部署による連携を促進します。また、市民文化会館大規模改修事業等により、安全安心に文化芸術に触れることができる環境整備をめざすとともに、文化財センター収蔵庫の全面運用開始により指定文化財等を適切に保存します。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	文化財センター・歴史民俗資料館・松浦武二郎記念館の一日当たりの入館者数(3館合計入館者数/3館合計開館日数)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	平成30年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	104 人	106 人	108 人	110 人	
	実績	101 人	46 人	82 人	86 人	86 人	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	市民が郷土の文化財に愛着や誇りが持てるよう、魅力のある企画展等を開催します。また、観光等他分野との連携を図ります。						
数値目標 ②	項目	松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率(3館合計利用日数/3館合計開館日数)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	80.0 %	81.5 %	83.0 %	85.0 %	
	実績	78.5 %	46.1 %	76.6 %	64.1 %	75.1 %	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	市民文化会館の大規模改修等、安全安心に利用できる施設整備を進めるとともに、魅力のある自主事業等を開催します。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	過去一年間に学校以外で文化財施設に一つ以上行ったことのある児童生徒の割合				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	児童 62 % 生徒 50 %	児童 66 % 生徒 53 %	児童 70 % 生徒 57 %	児童 75 % 生徒 60 %	
	実績	児童 58 % 生徒 46 %	児童 59 % 生徒 31 %	児童 57 % 生徒 57 %	児童 73 % 生徒 46 %	児童 70 % 生徒 62 %	
	評価	—	E	C	C	A	
	今後の方針	これからの文化の担い手となる子どもが参加しやすい展示や講座等を開催します。					

関係所属
文化課

4. 人も地域も頑張る力 ⑤スポーツと連動したまちづくりの推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜		
令和5年度 実行宣言			
<p>・スポーツをする、観る、支えるを通して”スポーツの持つチカラ”、”スポーツの魅力”の発信に全力で取り組み、市民の健康増進に寄与していきます。</p> <p>・みえ松阪マラソンについては、第1回大会の課題を踏まえ、ランナーをはじめ協賛企業、大会運営にご協力いただくボランティア、関係団体、応援いただく市民の皆さま等の満足度をさらに高める大会の実現をめざします。</p> <p>・スポーツ施設長寿命化計画の策定に着手するとともに、中部台運動公園の適正な管理体制について、一定の方向性を示していきます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>みえ松阪マラソンについては、第2回大会を12月17日に開催し、8,850人の参加者があり、関係者や沿道応援者を含め約13万人の方に参加いただき、約10億1,300万円の経済波及効果がありました。「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」を立ち上げ、小中学校をはじめ、地域、団体等に対し計37回4,200人の方々に対し出前授業、出前講座を行うとともに、SNSを通じてさまざまな情報発信を行いました。これらの取組が評価され、11月にスポーツ庁より「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を受賞しました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるよう、スポーツと連動したまちづくりに引き続き取り組むとともに、更にスポーツを通じた健康増進に取り組んでいきます。特に、みえ松阪マラソン2024については、定員を12,000人に増やし、第2回大会の課題を踏まえ、特に初心者と女性ランナーにやさしい大会づくりに取り組みます。スポーツ施設については、快適にプレーできる環境の充実に取り組みます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	3.05 /5	3.05 /5	3.08 /5	3.10 /5	
	実績	3.00 /5	— /5	2.98 /5	2.94 /5	3.00 /5	
	評価	—	—	E	E	E	
	今後の方針	スポーツ大会やスポーツイベント等の情報発信の充実に取り組みます。					
数値目標 ②	項目	公共スポーツ施設を利用している市民の割合				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	12.0 %	15.0 %	18.0 %	20.0 %	
	実績	11.5 %	— %	10.3 %	9.9 %	8.9 %	
	評価	—	—	E	E	E	
	今後の方針	安全・安心にスポーツ活動を行えるように、引き続き各施設の環境整備に取り組みます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	65.0 点	70.0 点	80.0 点	90.0 点	
	実績	62.9 点	— 点	— 点	79.4 点	80.9 点	
	評価	—	—	—	A	C	
	今後の方針	第2回大会の課題を踏まえ、特に初心者と女性ランナーにやさしい大会づくりに取り組みます。					

関係所属
スポーツ課

4. 人も地域も頑張る力 ⑥人権尊重・多様性社会の推進

評価者	環境生活部長 武田 誉利子		
令和5年度 実行宣言			
「松阪市人権問題についての市民意識調査」の調査結果をもとに、人権施策の指針である「松阪市人権施策基本方針」の改定を進めます。また、多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み市民意識の高揚を図ります。			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
「松阪市人権施策基本方針」の改定作業は令和5年度内に完了することができました。(令和6年度初めに公表予定)また、多様性社会づくりについては、啓発イベント等の啓発に対する取組を新たな実施方法の導入を含めコロナ禍以前の状況に回復することができました。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
新たな「松阪市人権施策基本方針」の具体的な施策展開を行うための「松阪市人権施策行動計画」を策定します。また、多様性社会づくりの推進においては、男女共同参画社会実現のため策定している「松阪市男女共同参画プラン」改定に向けての市民意識調査を行います。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	70.0 %	75.0 %	80.0 %	85.0 %	
	実績	68.4 %	— %	52.5 %	49.0 %	33.1 %	
	評価	—	—	E	E	E	
今後の方針	市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、全ての人々が希望と誇りをもって社会参加できる地域社会に向けて啓発活動を実施していきます。						
数値目標 ②	項目	多言語による生活情報などの提供・支援件数				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	8,000 件	8,000 件	9,000 件	10,000 件	
	実績	7,724 件	5,590 件	6,588 件	5,054 件	3,607 件	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	外国人住民に対し、通訳者を配置し母語による生活情報等の提供や説明、市窓口業務の支援を行い住民サービスの充実に努めます。						
数値目標 ③	項目	家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	31.0 %	33.0 %	34.0 %	35.0 %	
	実績	30.1 %	— %	28.2 %	16.8 %	28.7 %	
	評価	—	—	E	E	E	
今後の方針	家庭生活において、性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。						

関係所属
人権・多様性社会課